

一般質問から

※ここに掲げている質問は、一般質問の一部を抜粋したものです。



るよう全力をあげる。

片岡議員 投票率向上策の一つとして、期日前投票の巡回投票制度は考えられないか。選挙管理委員長の所見を問う。

津田議員 「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録について聞く。資産の見学や利用に対して、県は、北九州市、中間市、大牟田市や企業側とどのような協力体制で取り組んでいくのか。

松尾議員 地方創生への県の基本的な取り組み姿勢と、県内15広域地域振興圏域ごとの対応を尋ねる。

香原議員 平成28年度までに市町村が策定する予定の「公共施設等総合管理計画」づくりを県はどう支援するのか。

井上議員 文化庁は、博多祇園山笠、戸畑祇園大山笠など全国33件の祭りを「山・鉾・屋台行事」として来年11月にユネスコの無形文化遺産に登録すべく取り組んでいる。登録の意義をどのように捉えているか。

大田議員 中学校における武道教育の充実に向けた取り組みの成果と、今後の取り組みについて教育長に問う。

榎島議員 高齢期における嚙下(えんげ)障害の予防や口腔機能の維持向上のための今後の取り組みは。県が実施した調査では、高齢者施設で口腔ケアを行うのは主に介護従事者で、正しいケアがされていない実態もあった。県は昨年度から県内4か所の高齢者施設で、歯科衛生士が介護従事者に口腔ケアを指導する取り組みを定期的に行っている。口腔状態の改善効果を検証し、高齢者施設の管理者への研修会を行い、正しい口腔ケアを広げていきたい。

桐明議員 地方創生に対する考えと決意を問う。

地方創生の取り組みは地域内の多様な活動主体を巻き込んでいくことが重要。すでに「民間の発想で地域を変えていこう」という動きも見られる。総合戦略策定の有識者会議にも、中小企業関係団体等から参加していただき、積極的なご意見をいただいている。こうした民間との連携・協力を進めることで「経営者の視点」を取り入れていきたい。「総合戦略」に盛り込まれる事業の成果を検証しながら、息長く取り組んでいく。

伊豆議員 平成29年度に福岡県での開催が決定した「全国豊かな海づくり大会」について、抱負と決意を聞く。

大会において、本県が誇る水産物を県内外に広く発信、PRすることにより、漁業者の意欲を高め、水産業及び地域の振興・発展に努める。また、海や河川、水源地域の大切さを、県民に伝えていきたい。さらに、伝統的な食文化である魚食の普及にもつなげたい。今後、水産関係団体等のご意見を伺いながら、しっかりと準備していく。

西公園は、眼下に博多湾、遠くに玄界灘を眺望でき、平成2年に「日本さくら名所100選」に県内で唯選ばれた自然豊かな公園。一方で、整備されたから相当の期間が経過しており、今後、樹木の専門家による調査をし、計画的に桜の再生を行う予定。さらに、展望台からの眺望の確保や施設の更新、改修を行い、西公園の特徴である桜と眺望を活かした広報にも取り組む。

本年度4月の県知事・県議選挙では飯塚市選挙管理委員会が近畿大学と九州工業大学に設置、全国では統一地方選挙で、9市12大学で設置された。先進例を調べて市町村選管に情報提供する。

高齡期における嚙下(えんげ)障害の予防や口腔機能の維持向上のための今後の取り組みは。県が実施した調査では、高齢者施設で口腔ケアを行うのは主に介護従事者で、正しいケアがされていない実態もあった。県は昨年度から県内4か所の高齡者施設で、歯科衛生士が介護従事者に口腔ケアを指導する取り組みを定期的に行っている。口腔状態の改善効果を検証し、高齢者施設の管理者への研修会を行い、正しい口腔ケアを広げていきたい。

文部科学省の「公立小中学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」をどう評価するか。

少子化や交通機関の発達などを踏まえ、適正規模や適正配置に関する従来の考え方を直したものが、市町村が学校の統合や存続に際して検討を行う際に参考とすべき考え方を提示したものと理解。県教委は、小・中学校の統合はこれまで同様、市町村が地域の実情や住民の意向を踏まえて主体的に判断することが大切だと考えている。

文化庁は、博多祇園山笠、戸畑祇園大山笠など全国33件の祭りを「山・鉾・屋台行事」として来年11月にユネスコの無形文化遺産に登録すべく取り組んでいる。登録の意義をどのように捉えているか。

本県に欠かすことのできない祭りの無形文化遺産への登録は、県の伝統文化の保存・継承に大きく貢献する。文化振興はもとより、本県に対する内外の関心を高め、観光振興あるいは地域の活性化を推進する上で、大変有意義であると考えている。

畜産物の消費拡大にどのように取り組むのか。

畜産農家の経営安定のために消費拡大の取り組みが重要だと考えている。ブランド化を進めている「博多和牛」の認知度をさらに高めるため、平成29年度に宮城県で開催される「全国和牛能力共進会」に生産者と県で初めて参加する。県が開発した「はかた地どり」「はかた二番どり」もそれぞれブランド化を進めて認知度が向上している。これからも関係者と一体となって、本県畜産物の消費拡大を進める。

大濠公園、地域、並びに周辺と連携した西公園の活性化が必要ではないか。

西公園は、眼下に博多湾、遠くに玄界灘を眺望でき、平成2年に「日本さくら名所100選」に県内で唯選ばれた自然豊かな公園。一方で、整備されたから相当の期間が経過しており、今後、樹木の専門家による調査をし、計画的に桜の再生を行う予定。さらに、展望台からの眺望の確保や施設の更新、改修を行い、西公園の特徴である桜と眺望を活かした広報にも取り組む。

中学校における武道教育の充実に向けた取り組みの成果と、今後の取り組みについて教育長に問う。

現在、教員の指導力向上を目指した研修会を行うとともに、授業に

地域人材を活用する調査研究事業を行っている。特に地域人材の活用では、学校から「生徒に武道の伝統的な行動の仕方を身に付けさせることができた」などの報告を受けている。今後は武道系の運動部活動にも地域人材を派遣し、武道教育のさらなる充実・発展につなげたい。

2019年の試合会場に、九州では福岡県が大分県、熊本県とともに選ばれた。大会の成功に向け、九州一体となった取り組みについて、知事の考えを問う。

提案している。今後も九州地方知事会、九州観光推進機構などを通じて各県に働きかけ、大会の成功と九州への観光客の誘客を図っていく。

筑豊地区の定員割れの解消には、少子化、中学生の進路希望、地域のニーズなど、各学校を取り巻く状況を詳細に把握する必要がある。その上で、各学校の意見を十分に尊重し、自信を持って活性化に取り組めるよう、人的措置や経費的支援などを行い、併せて、学科構成や入学者選抜などの制度面での改善も検討し、教育委員会と各学校が意識を共有して、定員割れ対策に鋭意取り組んでいく。

知度を上げ、外国人観光客の誘客を促進して観光消費を拡大させるための九州一体となった取り組みを

九州地域戦略会議で、九州の認知度を上げ、外国人観光客の誘客を促進して観光消費を拡大させるための九州一体となった取り組みを



県知事・県議選挙において、全国及び県内の大学に期日前投票所を設置した例はあるか。また今後の大学への期日前投票所の設置については、若年層の政治への関心を高める意味でも、今まで以上に活用されるのではないかと

思うが、どうか。

本年4月の県知事・県議選挙では飯塚市選挙管理委員会が近畿大学と九州工業大学に設置、全国では統一地方選挙で、9市12大学で設置された。先進例を調べて市町村選管に情報提供する。

高齡期における嚙下(えんげ)障害の予防や口腔機能の維持向上のための今後の取り組みは。県が実施した調査では、高齢者施設で口腔ケアを行うのは主に介護従事者で、正しいケアがされていない実態もあった。県は昨年度から県内4か所の高齡者施設で、歯科衛生士が介護従事者に口腔ケアを指導する取り組みを定期的に行っている。口腔状態の改善効果を検証し、高齢者施設の管理者への研修会を行い、正しい口腔ケアを広げていきたい。